

保育園評価（自己評価）				
	目標	達成度 (9月)	達成度 (3月)	評価(9月)
子どもへのかかわりについて	一人ひとりの健康状態や発達について把握し、異常に気付くことができている。	B	A	登園時や保育中、一人ひとりの表情や様子を確認し、健康や発達に留意している。
	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築くことができている。	A	A	積極的にスキンシップを取ることで、子どもが安心して生活できる場を築いている。
	生活に必要な基本的習慣や態度を身に付けることができている。	B	B	学年に応じた生活習慣が身につくよう促している。特に挨拶・身支度に関わることに重点を置いている。
保護者支援について	保護者に口頭や文章で正確に伝達できている。	B	B	園便り、クラス便りの他に、クラスのホワイトボードを導入し、伝達がスムーズに行われるようになってきている。
	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	B	B	家庭内での生活習慣を把握し、子ども一人ひとりの生活に応じた対応、啓発を行っている
	子どもの送迎時や、行事など様々な機会を通し、子どもの様子や保育の意図を説明し、保護者との相互理解を図っている	B	B	送迎時に子どもの様子や保育内容等を伝えるよう留意している
園の運営について	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている。	B	B	職員間で学年ごとの関わり方等を、教えあう事ができている。
	資料（諸記録）を集積している。	A	A	資料、記録は保管し、過去2年分はすぐに取り出せるようにしている。
	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	A	A	避難訓練は毎月行っている。外部講師を招いての研修は年に一度以上行っている。
	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	B	B	家庭との連携はか密に出来ているが、特定の関係機関のみの連携になってしまっている。
資質の向上について	挨拶・来客・電話等の対応ができている	B	B	子どもや保護者に対して積極的に挨拶ができている。電話での対応は、相手に簡潔にわかりやすく伝えられないことがある
	互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っている。	B	B	月に一度の職員会議の場で各クラスの状況や行事への取り組みなど話し合うことができている。
	各種研修に参加し、研修の成果を保育に反映させている。	B	B	研修受講後に園内でその研修のフィードバックを行う事ができるようになってきている。
総合評価（反省・次年度への課題）				
<p>子どもとの関わりの中で個性や性格を理解し、一人ひとりに寄り添った保育を行うことが概ね出来ていた。職員配置について、配置基準以上の人数で保育を行うことで、子どもたちの安全に配慮をしながら保育を行うことができた。各職員、研修に参加し個人の資質向上は図ることができたが、研修内容を職員全体に周知しきれていないことがあった。保護者様との関わりの中で、話す内容を分かりやすく具体的にまとめることが出来ないことがあるため、来年度以降も研修等に参加するだけでなく、対話する機会を増やし、より密に連携を図っていきたい。</p>				

*達成度に応じてA～Cの3段階で評価する